

授業科目名： 総合的な学習の時間 の指導法		教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 馬居政幸 担当形態： 単独
科 目		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等 に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等		総合的な学習の時間の指導法		

授業の到達目標及びテーマ

- ・学習指導要領における「総合的な学習の時間(小中学校)」と「総合的な探求の時間(高等学校)」の「目標」「各学校において定める目標及び内容」「指導計画の内容と取り扱いを」をその社会的背景や教育的背景とともに確実に理解する。
- ・小中高それぞれの教育目標と児童・生徒の発達特性に応じて、児童・生徒が生きる(担う)社会と生活の課題を見出し、多面・多元的な視座から探求し、望ましい解決のありかたを求め続ける資質・能力を育成する学習活動にするために、各教科等で獲得する「見方・考え方」を総合的に活用して、学習者個々の資質・能力育成の学習活動として展開するために、各教科等との連携・合科・協働活動を視野においての単元構成、指導(活動)案作成、ならびに学校・教室の内と外での授業(活動)実践と子どもたちの活動状況に応じた評価活動のための基礎的知識・技能を学習・獲得する。その過程で、児童・生徒の保護者や学校の外の活動支援者とのネットワーク形成力を培う。

授業の概要

- ・本講義では小中学校「総合的な学習に時間」と高等学校「総合的な探求の時間」に共通する特性を鑑みて、講義時の学習活動、発表、評価などすべての作業をグループ単位にすすめる。
- ・まず、「総合的な学習に時間」と「総合的な探求の時間」の目標と内容と実践力を小中高それぞれの学習指導要領解説の「総合的な学習の時間編」、「総合的な探求の時間編」、「総則編」を用いて、学習・探求論と社会的・教育的背景について学習する。
- ・次に、小中高それぞれの総合的な学習の時間と探求の時間の年間指導計画・単元構成・授業(活動)実践のあり方の類似点と相違点について、テキストと実践記録(TTPとDVD)により学習する。
- ・同時並行で、育成すべき児童・生徒の資質・能力と授業(活動)づくりの方法を実践的に獲得するために、グループ単位に単元のテーマを「現代的な課題：食育・健康、高度情報・A I・D X、少子高齢・人口減少、Diversity・LGBTQ・X-gender、環境・エネルギー・carbon neutral、SDGs・ESDなど」から選び、他教科等との横断的・総合的(連携・合科・協働)学習を組み込む教材研究、単元構成、本時の学習指導・活動案の調査・考察・作成作業を行う。
- ・上記過程において、デジタル機器の活用やPPTによる表現を重視し、グループ別に学習活動案に基づきオンラインでの学習を組み込んだ模擬授業形式での発表を行い、評価の多元化を試みる。

授業計画

第1回：学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の目標と内容(各学校において、とは)

第2回：学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の方法(横断的・総合的学習とは)

第3回：学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の教育・学習論の基礎
(総則の学習1：「主体的・対話的・深い学び」と「カリキュラム・マネジメント」の必要性)

第4回：学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の社会的・教育的背景
(総則の学習2：「社会に開かれた教育課程」と「資質・能力」と「～的見方・考え方」への注目)

第5回：「総合的な学習・探求の時間」と現代的な課題の学習(“探求的な学習”から“探求”へ)

第6回：「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例1(活動と体験の位置づけ)

第7回：「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例2（教科書の役割） 第8回：「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例3（地域資源の活用） 第9回：「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例4（他教科・他学年との連携） 第10回：「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例5（評価と学力・資質・能力論への視野） 第11回：現代的な課題でのグループ別模擬授業1：ICT、AI、DXの社会的有用性と問題性 第12回：現代的な課題でのグループ別模擬授業2：Diversityとcarbon neutral実現可否と是非 第13回：現代的な課題によるグループ別模擬授業3：食育と健康寿命（SDGs・ESDの有用性） 第14回：現代的な課題によるグループ別模擬授業4：育児と高齢者の支援循環サイクル創り 第15回：模擬授業の相互評価による「総合的な学習・探求の時間」の課題の共有化（グループ間の相互評価と馬居の評価をふまえて各グループ発表用PPTを加筆修正してCD1枚に記録・複製。受講者全員と指導教員に配布。次年度の教材とする。） 定期試験 模擬授業とCD作成（報告書に相当）にかえる。
テキスト 小・中・高等学校の学習指導要領解説の「総合的な学習時間編」「総合的な探求の時間編」と「総則編」、馬居政幸・角替弘規共編著『人口減少時代の家族・学校・地域・社会—生涯にわたる学びと教えの新たな可能性を求めて—』（NSK出版 2017年）、無藤隆解説・馬居政幸・角替弘規制作『学習指導要領改訂のキーワード』（明治図書 2017年）を基本テキストに、新たに「総合的な学習・探求の時間」による「現代的な課題」の学習・探求の活動・教育の理論と方法の単著を発刊する。
参考書・参考資料等 馬居が主催する小中高等学校の教員との「少子高齢・人口減少社会を支える子を育む社会科と総合的な学習・探求の時間の課題と授業づくり」をテーマにした実践研究会による授業記録のVTRやPPT教材を講義とグループ別課題研究の進行に応じて提供する
学生に対する評価 模擬授業発表時の資料・レジュメ、発表の方法と内容の評価と講義終了後に発表内容と資料とその調査・考察・作成過程の記録も含めてストックしたDVD作成過程の評価を総合して判断する。